

北海道帝国大学独立記念歌

(大正七年)

一

都みやこの花はなを吹ふく風かぜの
津つ輕がるの海うみをこえくれば
石いし狩かりの野の邊べ雪ゆき消きえて
うわら若かく草さの香かも高たかく
白しら雲くも空そらに行ゆき通かひて
羊ひつじの夢ゆめぞ長のど閑かなる

二

さあへいれ平わ和めの夢ゆめの夢ゆめ
見みよ西せい欧おうの空そらの様よう
怪かい雲うん荒すさび暴あらし風ほ吠え
シはるベリいろや春はるの色いろもなく
狂きやう風ふう千せん里り胡こ砂さを捲まき
日に本ほん海かいに波な高たかし

三

今いまぞ皇み国いく多た事じの時とき
北きたの守まもりの北ほく州しゅうに
護ご国こくの子こ等らが学まなび舎やの
弥やや栄さかえゆよろこく喜こひを
心こころに永ながくしるさんと
歌うたこゑ高たかき春はる今こ宵よい